

事業番号	15 02 04	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課	
		実施期間	H30 ~	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 平成31年度「4・5月教職員の勤務時間等の調査」では、教員一人当たりの1か月平均時間外勤務時間は57時間37分と、年々縮減傾向にはあるものの、長時間勤務の実態が続いている。本来業務のほかに諸事務、部活動、授業補助等の多量の業務が長時間勤務の一因となっている。今後、学習指導要領の改訂に伴う授業改善や複雑化した課題への対応等、教員が本来業務に注力できるための人的支援が必要。
	【目指す姿】 授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフ(SSS)を学校に配置し、教員の負担軽減を図ることで、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を作る。
	【実施内容】 授業補助、印刷業務、採点業務等を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを一定規模以上の学校に配置。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	コロナ対応業務においてスクール・サポート・スタッフが役立ったと回答した学校の割合	%	—	91.1	—	92.6	↑	85	達成
2	配置校における1か月の平均時間外勤務時間の対前年比(一人当たり)	%	0.6	△3.6	↑	6.2	↓	前年度以下	未達成
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	0	0	0
	当初予算額	87,458	287,973	233,958
	補正予算額	0	0	-18,795
	合計(A)	87,458	287,973	215,163
	うち一般財源	58,394	76,880	144,168
	決算額(B)	87,458	204,096	215,163
職員数(人)		2.0	2.0	2.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.コロナ対応としてのスクール・サポート・スタッフ配置効果を評価する。 2.スクール・サポート・スタッフを活用した業務改善に向けた学校マネジメントの実施状況を、時間外勤務時間の改善状況によって評価する。
達成状況の分析	1.配置校へのアンケートでは、スクール・サポート・スタッフ配置に対する評価で「大いに役立った」92.6%(R2:91.1%)と高い評価を得ている。スクール・サポート・スタッフを活用した業務改善報告書からも、継続を希望する声が多かった。特に令和3年度はコロナ禍での消毒作業に加え業務内容も広がった等、教職員の負担軽減につながったという声が多かった。 2.令和2年度は、スクール・サポート・スタッフ配置校における1人あたりの時間外勤務時間が R1 49:01 → R2 47:16となり、1:45(3.6%)の縮減が図られた。一方、令和3年度は、R3 50:12となり、令和2年度と「比して2:56(6.2%)増加した。令和2年度は、全国一斉休業措置がとられ登校日数が少ないことから、単純に比較することはできないが、より効果的な活用を検討したい。

主な取組	<p>✓ スクール・サポート・スタッフを一定規模以上の公立義務教育諸学校に配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント等の準備、採点業務や来客・電話対応、新型コロナウイルス感染症対策の消毒作業等、全ての学校において教師を強力にサポートし、教師がより児童生徒への指導や教材研究に注力できる体制を整備 ・通常学級数が概ね7学級以上の小・中・義務教育学校303校に配置。 <p>【配置校の声】 今年度も様々なコロナ対応(消毒や清掃等)があったが、丁寧・迅速に処理していただいた。そのお陰で時間をかけたい仕事に集中することができ本当にありがたい。スクール・サポート・スタッフの存在がなければ一日30分以上(印刷、消毒業務等)時間外勤務が増加すると予想される。コロナが終息しても、教職員の業務改善には欠かせない存在だと思う。</p> <p>【スクール・サポート・スタッフの声】 朝一番の健康カードのチェックは、年間を通してお手伝いのできたので良かった。先生方が仕事を依頼しやすいように、黒板に出勤予定を貼ったり、「大至急」「早めに」「いつでも」と仕事に3段階のランクをつけて依頼してもらったりすることで、依頼しやすいような環境作りに努めることができた。</p>
------	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・教員の業務負担の軽減につながっている一方で、R3は配置校の1人あたりの時間外勤務時間が前年度より増加した。要因としてはコロナの一次的な鎮静化に伴う本格的な授業の再開や、チームでの丁寧な生徒指導対応等が考えられるが、今後、より効果的な活用が求められる。	配置校の拡充に取り組むとともに、有効活用を検討したり、工夫した取組事例を広めたりすることにより、支援業務の内容、質を高め、教員の業務負担の軽減を一層図る。

事業番号 15 02 04 **細事業一覧（令和3年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
-----	---------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	87,458 千円	204,096 千円	215,163 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	スクール・サポート・スタッフ配置事業費	直接	・通常学級数が概ね7以上の小・中・義務教育学校303校にスクール・サポート・スタッフを配置。